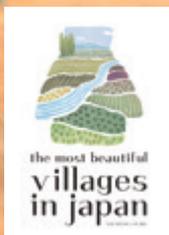


広報 ⊕
No.728
令和6年

いいたて10

www.vill.iitate.fukushima.jp





秋晴れの空の下、そよ風にやさしく揺れるコスモスの花。

目次 CONTENTS

- 02 話題「13区営農組合 福島県農業賞」
- 04 特集「秋のいいたてお出かけMAP」
- 08 報告「令和5年度決算報告」
- 12 ほけんとふくし「飯館村敬老会」
- 14 空から百景「実りの秋」
- 16 報告「9月議会定例会」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からおしらせ
- 23 いいたてなりわいREPORT
- 24 いいたてイノサル通信
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 村民広報委員コラム ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／おしらせ

📷 今月の表紙



草野大師堂の店舗でカフェと食堂を営む地域おこし協力隊の横山梨沙さん。おいしいコーヒー、人にも環境にもやさしい食事メニューが人気で、村で暮らす人や働く人はもとより、村外からも多くの人が足を運んでいます。今月の特集「秋のいいたて お出かけMAP」もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

13区営農組合 福島県農業賞「復興・創生特別賞」を受賞

農地を守り、価値を生み出す挑戦、耕畜連携の取り組みも評価

農事組合法人「13区営農組合」が、第65回福島県農業賞「復興・創生特別賞」を受賞しました。同組合は、平成27年、上飯樋行政区（13区）の住民有志による任意団体として発足し、令和元年に法人化。13区を中心に集積された農地で、稲発酵粗飼料（WCS／ホールクroppサイレージ）や牧草、飼料用米などを生産しています。今年

の栽培面積は143haで、来年以降もさらなる農地の集積を計画。震災後の飯館村で、農業の再生振興に大きく貢献しています。表彰式は、9月2日、福島市の杉妻会館で行われ、細川強代表らが、内堀雅雄福島県知事から表彰状や盾を授与されました。細川代表は「受賞が決まった際に、メンバーから『今までやってきてよかつ

たな』と声が上がった。年寄りには（いざれ）引退の花道に、若い者には励みになる」と喜びをかみしめました。また、9月5日には村役場を訪れ、杉岡村長らに受賞を報告。細川代表が「指導者にもグループ（メンバー）にも恵まれた。おごることなく、さらなる上を目指して精進したい」と決意を述べました。

9月5日、揃いのネクタイで来庁し受賞報告を行った組合員の皆さん。



9月2日に杉妻会館で行われた表彰式にて〈左上〉式に出席したJAふくしま未来飯館営農センターの岡田公政センター長（右端）、村産業振興課農政第一係の齋藤博史係長（左端）と共に。〈左下〉内堀知事から表彰状を受け取る細川代表。〈上〉内堀知事（前列中央）との記念撮影。



熱き思いを胸に農地の再生に挑む
農事組合法人「13区営農組合」

農地再生の担い手となるべく立ち上げた任意の団体を法人化。全組合員が関わる公平な運営を旨とし、業務の拡大を図ってきました。農地を預ける地域住民への利益還元も大切に考えています。

WCSのロールが並ぶ水田。(令和6年)



法人化当時のメンバー。(令和元年)



デントコーンの栽培面積も拡大中。(令和6年)



地域の担い手集団として活動をスタートし、広大な農地にヒマワリを植え緑肥にするなど、いち早く営農再開に備えました。令和元年秋には任意の団体を法人化。「農地中間管理事業」を先駆的に活用し、集積した農地で新たな農業の形をつくってきました。現在は、稲発酵粗飼料（WCS／ホールクroppサイレージ）や牧草、飼料用米、デントコーン、大豆（契約栽培）を生産。農地は数年内に200haまで広がる見込みで、販路についても組合が自ら開拓し、耕畜連携を拡大しています。



秋のいいたて お出かけ

MAP

マップの道路は略図です。
施設情報はP 5-6をご覧ください。

拡大図(センター地区)

厳しい残暑が過ぎ、ぐっと秋めいてきて、お出かけにぴったりの季節になりました。皆様いかがお過ごしですか。気に入りつつも、まだ行ったことのないスポットへ、あるいは誰かにおすすめしたいお気に入りのスポットへ、足を運んでみませんか。

気まぐれ茶屋ちえこ
この滋味深い料理



木立に囲まれるあいの沢キャンプ場



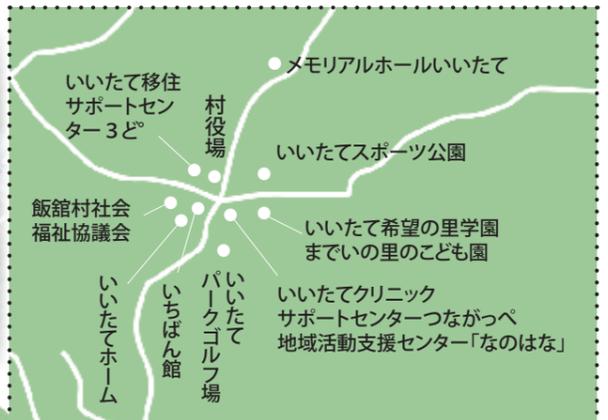
宿泊体験館きこりは日帰り入浴も



道の駅に隣接するふかや風の子広場



道の駅のホール天井を飾る花玉



North-IITATE 北の部分



村カフェ753は人気のベーグル店



東北中央自動車道
霊山ICへ
至伊達

国道115号線から東北中央自動車道・霊山飯館ICへ(福島方面入口)

気まぐれ茶屋ちえこ

風と土の家
仮設住宅のログ材を再利用した宿泊施設

虎捕山(706m)うつくしま百名山
山津見神社



環境づくりの秘密
基地「図図倉庫」



渓谷沿いの道路は修復工事が完了し全面通行が可能になっています

真野川渓谷

堰堤橋



森と沢が彩る堰堤(えんてい)橋



参道の紅葉が美しい綿津見神社

正月に作況を占う神秘的の井戸
作見の井戸

大倉簡易郵便局

大倉の桜

桜、新緑、紅葉と四季が彩るはやま湖



大倉大橋 はやま湖
はやま湖展望台



夏のはやま湖まつりでは花火大会も

至南相馬/相馬

東北大学惑星圏飯館観測所

森の中に巨大なアンテナが



村民の森あいの沢
宿泊体験館きこり
農業研修館きらり
あいの沢キャンプ場



加工施設。水曜日はゆかり農園の弁当を販売
もりの駅まごころ

深谷復興拠点エリア
いいたて村の道の駅までい館
ふかや風の子広場
わんこの庭のびのび

村カフェ753

飯館村商工会

あぶくま信用金庫

綿津見神社

二瓶刃物(刃物の館やすらぎ工房)

交流センター「ふれ愛館」

消火分署

駐在所

洋菓子店。オープンに向けて準備中です

コーヒー屋の食堂/CoffeePourHouse



高品質の刃物を製造する二瓶刃物の工房



コーヒー屋の食堂のランチでほっこり

二枚橋のミズバショウ
来春の開花をお楽しみに

田舎レストランLa Kasse

二枚橋郵便局



つどい茶屋では九州名物が味わえます

とみじいの野草ガーデン
ダリア園も見応えがあります

肉のゆーとびあ
黒毛和牛の生産者が営む精肉店

拡大図(右上)
センター地区

大火山つつじの森

つどい茶屋JAZZ喫茶くま

結GARDEN
来夏のアヤメとポピーをお楽しみに



春には一帯が桜色に染まる飯館復興の桜

大火山つつじの森は5月が見頃は5月が見頃

増棟しました。若者が集うCOCODA

村の花々をキャンドルに。工房マートル

名物のうどんの他、定食もおいしい糸びす庵

春は水仙や桜が美しいマキバノハナソノ

七曲峠の麓。村中が紅葉スポットです

内外の人が交流する長泥のコミセン

10月に植樹祭を予定しています

下記の施設情報は主に飯館村発行の「ぐるっと!いいたてマップ」を元にしています。お出かけの際には最新情報をご確認ください。

■ 食べる

- 農家レストラン「氣まぐれ茶屋ちえこ」(佐須字佐須200) ☎0244-42-1303/080-5551-8749 営 木～日曜日午前11時～午後3時(完全予約制)
- 田舎レストラン「La Kasse」(二枚橋字本町193-3) ☎0244-42-1228 営 午前11時～午後3時(ラストオーダー午後2時)夜は予約制 休 月・木曜日
- 村カフェ753(深谷字市沢193-1) ☎0244-26-7536 営 午前10時～午後4時(売切で終了) 休 土・日曜日、祝日
- コーヒー屋の食堂(草野字大師堂65) 営 水～金曜日午前11時30分～午後2時 ※CoffeePourHouseのカフェタイムあり
- 手打ちうどんの店「糸びす庵」(飯樋字町374-1) ☎0244-43-2018 営 午前11時～午後2時30分 休 火曜日
- つどい茶屋JAZZ喫茶くま(飯樋字大火115-3) ☎090-1513-1917 営 正午～午後5時 ※曜日による変動あり 休 不定休
- もりの駅弁屋さん(もりの駅まごころ/関根字谷地169-9) ☎090-7666-0115(ゆかり農園加工部) 営 水曜日午前11時～午後2時

■ 泊まる

- 宿泊体験館きこり・農業研修館きらり(深谷字市沢166-6) ☎0244-42-1012(受付午前9時～午後6時)
- あいの沢キャンプ場(深谷字市沢116) ☎0244-42-0511(管理棟※午前9時～午後4時)
- 風と土の家(佐須字佐須557-1) ※利用希望はHP問い合わせフォームから
- ゲストハウスCOCODA(飯樋字原358) ☎070-1159-9690
- 古今呂の宿「福とみ」(飯樋字大橋180) ☎080-5740-4656



■ 遊ぶ・知る・買う

- いいたて村の道の駅までい館 ☎0244-42-1080 営 午前9時30分～午後6時 ※11月～2月は午後5時まで 休 水曜日
- いいたてスポーツ公園 ☎0244-42-0152 営 午前9時～午後9時 ※予約制(土日祝日及び平日の午後5時15分以降は事前予約時のみ開館)
- いいたてパークゴルフ場 ☎0244-42-1571 営 4月～11月の午前9時～午後5時 ※11月は午後4時まで 休 水曜日
- ふかや風の子広場・ひみつ基地どきどき/わんこの庭のびのび ☎0244-26-7340 営 午前10時～午後4時 休 水曜日 ※わんこの庭のびのびは12月～2月は午後3時まで
- 図図倉庫(深谷字二本木前5-1) 営 詳しくはInstagramから
- 工房マートル(飯樋字原361) 営 詳しくはInstagramから
- 二瓶刃物(刃物の館やすらぎ工房)(草野字大師堂133-37) ☎0244-42-0333
- 肉のゆーとびあ(松塚字松塚65) ☎090-2993-6062 ※注文の詳細はHPから



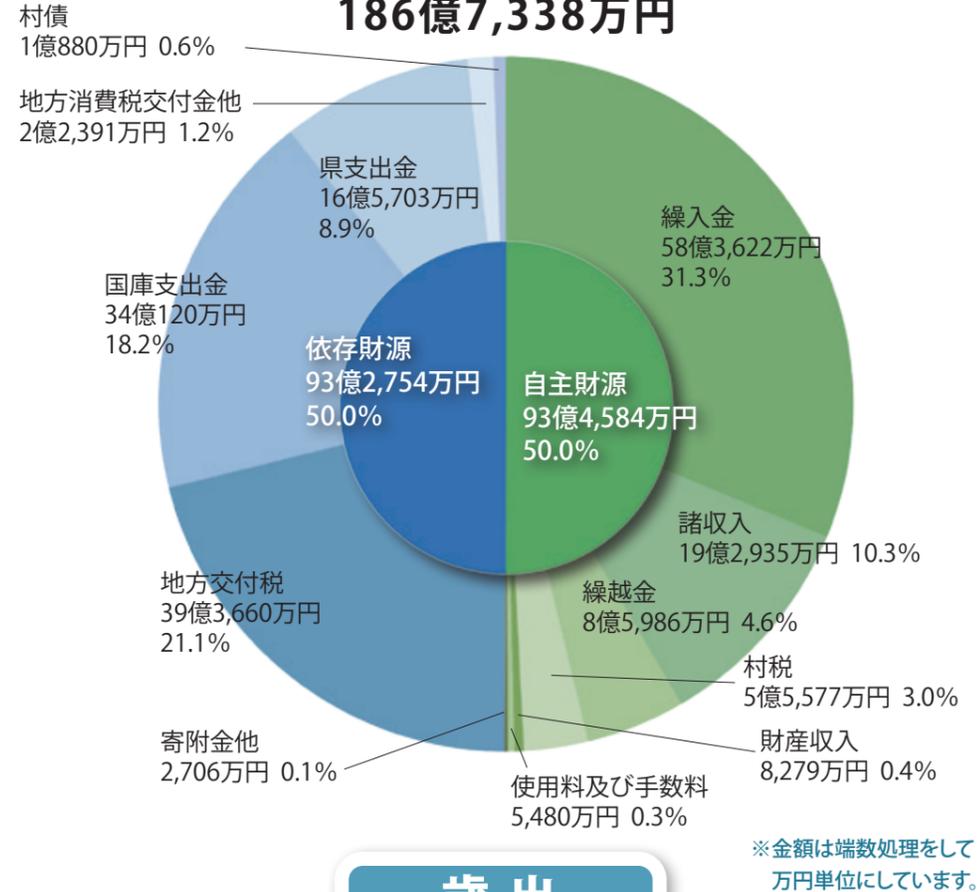
令和5年度 飯舘村 決算報告

飯舘村における令和5年度各会計決算がまとまり、9月定例議会で承認されました。一般会計における歳入決算額は186億7338万円(前年度比33.3%増)、歳出決算額は180億229万円(42.9%増)であり、それぞれ過去2番目、過去1番目に大きい額となりました。歳入歳出差引額は6億7109万円であり、実質収支は、翌年度へ繰越すべき財源2億2012万円を差し引いた4億5097万円の黒字となりました。また、歳出決算額のうち125億5482万円(全体比69.7%)が東日本大震災からの復興・創生に要した支出となっています。

昨年度の一般会計・特別会計の概要や村政の動き等についてお知らせします。

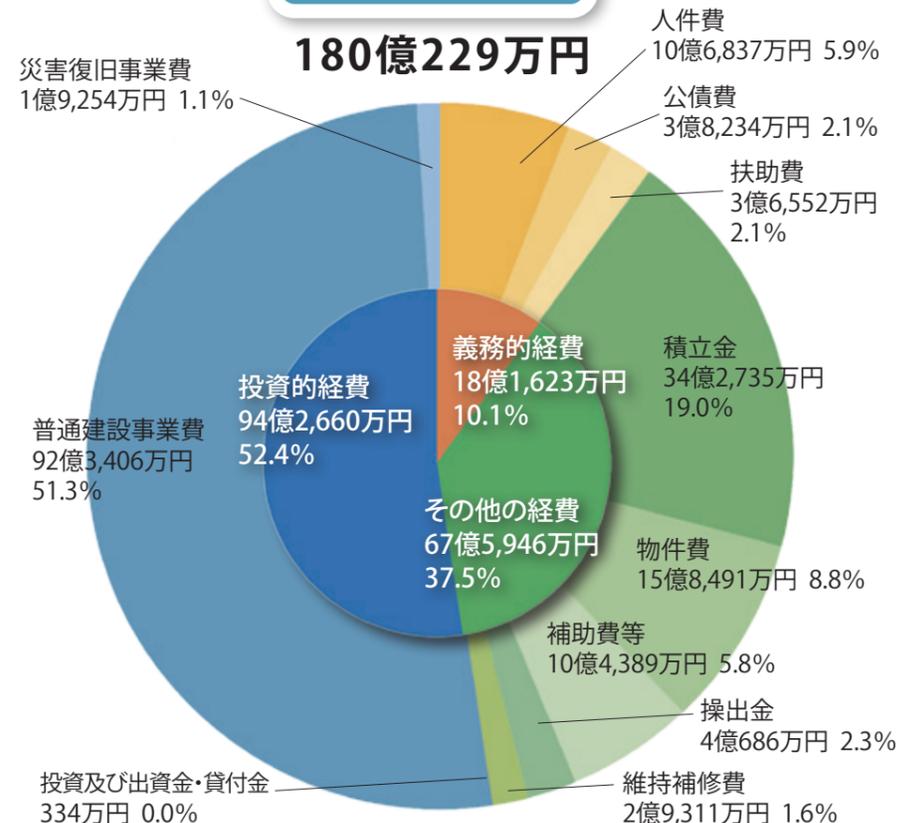
歳入

186億7,338万円



歳出

180億229万円



令和5年度に
村民1人あたりに使われたお金

(10円未満四捨五入)

390万7,590円

※一般会計目的別歳出決算額
180億229万円
人口4,608人(令和6年3月31日現在)

農林水産業費
農業復興のために



1人あたり
212万1,980円

総務費
村全般企画・管理に



1人あたり
92万3,860円

土木費
道路や橋の整備に



1人あたり
12万540円

民生費
福祉増進のために



1人あたり
23万9,710円

衛生費
清掃・予防衛生に



1人あたり
11万1,710円

商工費
企業支援・観光などに



1人あたり
9万6,320円

教育費
学校教育の充実に



1人あたり
8万2,360円

公債費
借入金の返済に



1人あたり
8万2,970円

災害復旧費
災害復旧に



1人あたり
4万1,780円

消防費
消防・防災に



1人あたり
4万590円

※その他(議会費・労働費・諸支出金)…1人あたり4万4,910円

村各特別会計の決算状況 ※()内は前年度比

● 国民健康保険特別会計

歳入 11億 451万円(0.7%減)
歳出 9億9,488万円(0.8%減)

● 簡易水道事業特別会計

歳入 1億4,945万円(11.8%減)
歳出 1億1,926万円(29.5%減)

● 農業集落排水事業特別会計

歳入 4,702万円(61.5%減)
歳出 3,077万円(74.7%減)

● 介護保険特別会計

● 事業勘定
歳入 10億1,049万円(0.7%減)
歳出 9億5,773万円(2.4%減)

● 介護サービス事業勘定
歳入 538万円(1.2%減)
歳出 538万円(1.2%減)

● 後期高齢者医療特別会計

歳入 3,501万円(5.3%増)
歳出 3,501万円(5.3%増)

村役場職員の給与などをお知らせします

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、「地方公務員法」及び「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数等の人事に関する運営状況についてお知らせします。

●職員数の状況

(各年4月1日時点)

		職員数			
		令和5年	令和6年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	
		総務	18	17	△1
		税務	5	5	
		民生	8	7	△1
		衛生	4	5	1
		労働	0	0	
		農林水産	9	8	△1
		商工	3	2	△1
		土木	6	7	1
	計	55	53	△2	
	教育部門	8	9	1	
	小計	63	62	△1	
公営企業等会計部門	その他	8	7	△1	
	小計	8	7	△1	
合計		71	69	△2	

●職員の平均年齢、平均給料月額

(令和6年4月1日時点:一般行政職)

平均年齢	平均給料月額
42.2歳	33万1,200円

●職員の初任給の状況

(令和6年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	20万7,100円
	高校卒	17万4,400円

●人件費の状況

(普通会計令和5年度決算)

住民基本台帳人口 (令和6年1月1日)	4,686人
歳出額	180億 228万6千円
人件費	10億6,837万0千円
人件費率	5.9%

※人件費率=人件費÷歳出額

●特別職の報酬などの状況

(令和6年4月1日時点)

給料 (月額)	村長	80万5,000円
	副村長	65万円
	教育長	62万円
報酬 (月額)	議長	30万円
	副議長	25万1,000円
	議員	23万5,000円
期末 手当	村長	(令和6年度支給割合) 6月期 1.675月分 12月期 1.675月分 計 3.35月分
	副村長	
	議長	
	副議長	
	議員	



※職員数は、一般職(会計年度任用職員等を除く)に属する定員管理上の職員数です。

※詳細については、10月下旬、村ホームページに掲載しますのでご覧ください。

新しい村に向かって 令和5年度に実施した主な施策

令和5年度一般会計決算額の中で、復興・創生事業に要した歳出総額は125億5,482万円で歳出全体の約69.7%を占めました。令和5年度に村が行った主な施策について、紹介します。

木質バイオマス施設等緊急整備事業 48億3,369万円



飯館みらい発電所

有害鳥獣減容化施設整備事業 2億7,236万円



有害鳥獣減容化施設

新規就農者技術習得管理施設整備事業 3億2,689万円



農業研修館きらり

商業施設整備事業 2億5,639万円



商業施設建設工事安全祈願祭

飯館村の財政状況指数

令和5年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。令和5年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にあり、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯館村の財政状況
一般会計における赤字の大きさの程度(実質赤字比率)	15%	0%(算定なし)
全会計における赤字の大きさの程度(連結実質赤字比率)	20%	0%(算定なし)
村の財政規模に対する決算年度中の借入金返済額の割合(実質公債費比率)	25%	6.4%
村の財政規模に対する将来負担額(借入金返済額等)の割合(将来負担比率)	350%	0%(算定なし)

令和6年度 飯舘村敬老会

9月8日、いいたて希望の里学園の第一体育館において、令和6年度飯舘村敬老会を開催しました。開催にあたっては、飯舘村社会福祉協議会、飯舘村婦人会、飯舘村老人クラブ連合会、民生児童委員連絡協議会など、多くのご協力をいただき、心を込めて敬老者の皆様をお祝いしました。



敬老会では、杉岡村長が「長年にわたり、ご家族のため、地域のため、そしてふるさとの担い手」としてこの飯舘村を築き上げてこられた皆様に心より敬意と感謝を申し上げます」とあいさつ。飯舘ライオンズクラブからは祝いの酒が贈られました。演芸の発表では、サプライズで長泥行政区の菅野タカさんが見事な歌声を披露した他、いいたて希望の里学園の児童・生徒による合唱動画、までの里のこども園の園児によるかわいらしいダンス、そして、敬老会スタッフによる「東京ブギウギ」のダンスが披露され、会場が一体となつて盛り上がりました。

敬老会代表の三瓶政美さんは、開催への感謝を述べ「ふるさと飯舘村を想い、村を支え、より活気のある村で暮らせるよう、心を一つにして、前進していこうではありませんか」と出席者に呼びかけました。

散会後には、村で栽培されたトルコギキョウが贈られ、参加者が、敬老会の想い出として、笑顔で受け取っていました。



①敬老会散会后、色とりどりの「トルコギキョウ」が贈られました。贈る側も贈られる側も、喜びがあふれます。②久々の再会と楽しいひと時に、笑顔がこぼれます。また来年も、この場所で。



渡邊百合子さん(関沢)に敬老祝い金を授与。

謝辞を述べる三瓶政美さん(大久保・外内)。



③菅野タカさん(長泥)がサプライズで歌を披露。会場から歌に合わせて手拍子が響きます。④までの里のこども園の園児達によるダンスの披露。この日のためにいっぱい練習しました。⑤敬老会スタッフによる「東京ブギウギ」ダンスに、会場の皆さんの笑みが輝きました。



厳しい残暑が長い期間続きましたが、9月の後半を境に気候がぐっと秋めいてきました。実りの秋の到来です。写真は青田豊実さん（前田）を中心とする担い手の皆さんが、力強く営農を進めている前田地区の水田です。青田さんが生産組合の代表を務めるもち米「あぶくまもち」も約2.6haで栽培されています。奥には、白い花を咲かせた蕎麦の畑も見えます。

空から
百景

実りの秋



令和6年9月議会定例会は、8月30日から9月13日までの日程で開かれました。一般質問は9月3日・4日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議案審議は13日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会でも可決された議案など

- 令和6年度飯館村一般会計及び各特別会計等に係る補正予算決算認定について
- 令和5年度飯館村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について
- 飯館村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 飯館村税特別措置条例の一部を改正する条例
- 特定復興産業集積区域における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 商業施設売場用商品棚の取得について
- 福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
- 農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)農業基盤整備工事(水路工)前田・八和木地区第11回工事請負契約について
- 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています。

行政区懇談会について

昨年まで、村は住民の声を直接聞く機会として、8月に「住民懇談会」を、11月に「行政区ヒアリング」を開催してきましたが、本年度はこれらを合わせた「行政区懇談会」として各行政区集会所を会場に開催しました。

令和7年度に第2期復興・創生期間が終了することから、飯館村をはじめ被災自治体及び県では、同期間以降の復興事業の継続や支援策等について国に対し要望を行っています。令和6年度は令和8年度以降の復興支援策の枠組みを決める重要な時期であることから、行政区における喫緊の課題に対応すると共に、将来に向けた村の課題を早期に取りまとめ国に届ける機会とするため、5月から8月末までに20行政区全てで「行政区懇談会」を開催したものです。
懇談会で出された意見や要望は、取りまとめ整理した上で、令

和8年度以降の復興策をはじめとする国・県要望につなげていきたいと考えています。

長泥地区の避難指示解除の状況について

長泥地区に残る帰還困難区域(特定復興再生拠点区域及び長泥曲田公園以外の区域)の避難指示解除については、堆肥製造施設及び特定復興再生拠点区域外の外縁部除染済み農地の一部で令和7年春の避難指示解除を目指すことについて、本年5月に説明会を開催し同意をいただいていることから、その準備を進めています。また、それ以外の区域についても行政区役員会を主とした住民の皆様との協議、国・県との協議を進めているところです。引き続き、飯館村全域の避難指示解除に向けて、尽力していきます。

いたて村の道の駅までい館

平成29年8月12日にオープンしてから今年7月末までのレジ客数は、までい館が80万6536人、セブンイレブンが177万1274人です。

風の子広場・ドッグラン

ふかや風の子広場の利用者は、本年4月から7月末までで2914人です。ドッグラン「のびのび」の利用は本年4月から7月末までで228件、300頭です。どちらの施設も大変ご好評をいただいております。村内外の多くのお客様に楽しんでいただいております。

宿泊体験館きこり

本年4月から7月末までの全体利用客数は5076人で、このうち素泊まり宿泊利用者は519人、入浴施設利用者は3144人です。

本年5月より軽食を提供している「やまぼうし」の利用者数は、7月末までに1084人となっています。その他、会議利用のお客様も増えており、村民の憩いの場、交流の場として多くの方の利用がありました。

あいの沢キャンプ場

ファミリーキャンプをはじめ様々なスタイルのキャンパーにお越しいただき、4月から7月末までに1068人の利用がありました。

した。特に夏休み期間は多くの家族連れで賑わっており、今後も「きこり」「あいの沢」共に、村の観光・交流の拠点として、より利用しやすい施設となるよう、村内外にPRをし、交流人口の拡大を図っていきます。

村税課税状況

8月1日現在で、個人村民税1840件、固定資産税2155件、軽自動車税3633件、国民健康保険税73件、介護保険料84件です。

村民の帰還状況

8月1日現在の村への帰還者は628世帯、1190人で、帰還率は約26%です。これに、転入者270人と「いたてホーム」の入所者等を合わせ、村内居住者は806世帯、1522人です。

避難を継続している方は、県外避難者が145人、県内避難者が福島市に1923人、南相馬市に272人、伊達市に235人、川俣町に217人、相馬市に116人で、合わせて2907人です。

木質バイオマス施設等緊急整備事業

6月30日に、議長はじめ議員の皆様にもご出席をいただき、「飯館みらい発電所」竣工式が開催されました。なお、営業運転開始については性能面、安全面確保のための追加作業を行うこととなったため、予定より少々遅れる見込みとなった旨、報告を受けています。

建設関係

行政区で実施する住民参加型環境保全事業による村道の草刈りについては、16行政区において、1回目の草刈りが完了し、今後2回目の草刈りを実施する予定です。その他の路線は、村内業者への委託により草刈りを進めています。また、国県道については、県による道路愛護交付金により地元で対応可能な16行政区約14.4kmの草刈りを実施しています。今年度については、県道原町川俣線において、年2回の草刈りを実施していきます。また、県による河川愛護交付金により、関沢地区において1.7kmの河川の草刈りを実施し

ています。

村道機能回復工事(舗装工事)は、現在、15路線4.5kmの工事を発注しており、12月末の工事完了を見込んでいます。合わせて村管理の普通河川、17河川においても除草作業を進めており、10月末に完了する予定です。

教育委員会関係

学校管理においては学校給食の民間業者への業務委託を進め、2学期からの提供体制を整えてきたところです。8月21日には給食試食会を実施し、味や質に変わりがなかったことを確認しました。これまでも同様、村内産の食材利用を進めると共に、安心・安全な学校給食の提供に努めていきます。

こども園においては、保護者との密な連絡体制が確立され、安心・安全の保育がなされています。学校における学習環境では、タブレットの活用によるICT化が日常的になり、オンライン授業や双方向の授業を取り入れながら、さまざまな活用形態が広がってきているところです。



家族や友人と一緒に縁日屋台の遊びを満喫しました。

子ども達の笑顔がキラキラ「いいたてっ子秋祭り」

9月15日、いいたて希望の里学園で、『いいたてっ子秋祭り』が開催されました。主催は飯館村PTA連絡協議会の役員を中心とする「いいたてっ子秋祭り実行委員会」。児童・生徒と、までのりの里のこども園の園児が、家族と共に参加しました。会場にはヨーヨー釣り、射的、輪投げ、ボーリングサッカー、千本吊りなど縁日屋台の遊びがずらり。さらには村内事業所の協賛による豪華景品盛りだくさんの「大ビンゴ大会」も。保護者、先生方、地域の温かな思いが詰まったお祭りを、子ども達が笑顔満開で楽しみました。

おいしいトウモロコシを届けていただきました！

9月4日、いいたて希望の里学園とまでのりの里のこども園で、トウモロコシのプレゼントがありました。山梨県忍野村にお住まいの田邊達也さんは、震災の直後からこれまで毎年のように、村の子ども達にトウモロコシを贈ってくださっています。今回「飯館村の子ども達のために」とトウモロコシを携え、ご家族と共に飯館村にお越しになり、学園とこども園に直接届けていただきました。子ども達はいただいたトウモロコシを手に、どうやって食べるかわくわくです。みんなで一緒に、「ありがとうございます！」



市町村対抗軟式野球大会 信夫ヶ丘球場で1回戦

9月16日、第18回市町村対抗福島県軟式野球大会の1回戦が福島市の信夫ヶ丘球場で行われ、飯館村チームが大玉村チームと対戦しました。試合は点の取り合いが続く打撃戦となり、飯館村チームは、ホームラン1本を含む10安打で健闘しましたが、5回に逆転を許し、7対10で惜敗しました。

ツーランホームランでホームにかえり、スタンドの拍手に応える巻野雄汰外野手。



力強い打力を見せた飯館村チーム。明るいムードでチームワークも抜群。今後の活躍に期待が高まります。

いつでも塾生募集中！ わくわく農業体験塾

農業を通じて交流を深める『わくわく農業体験塾』は、9月7日に第2回実行委員会を開催しました。実行委員会では、今年度前半の活動を振り返り、より充実した活動にするための意見を出し合いながら、それぞれの思いも共有しました。

実行委員会後は、赤石澤備塾長（上飯樋）の畑に移動し、冬野菜の種まき・定植を行いました。10月には、移住検討者向けモニターツアー「ミチシル旅」の参加者とのさつまいも掘り、11月には料理交流会の開催を計画しています。



この日は、白菜、大根、カブを植えました。作業後は収穫したスイカをみんなで味わいました。

子どもから大人まで！ テニス教室で楽しく運動

9月21日、いいたてスポーツ公園の屋内コートにて、飯館村主催のテニス教室を開催しました。参加者は、硬式テニスに9人、軟式テニスに4人の合わせて13人です。グループごとに講師が付いて、基本的な打ち方やサーブから、コースを狙った打ち方まで、アドバイスを受けながら練習しました。参加者からは、「初めて参加したけれど、楽しかった」「これからも参加したい」という声上がり、それぞれがテニスを通して、交流や運動を楽しんでいました。



初心者から経験者まで、さまざまな年代が集まり、テニスを通じて交流を楽しみました。

あぶくま信用金庫 企業版ふるさと納税寄附贈呈式

9月9日、あぶくま信用金庫より、村で初めてとなる企業版ふるさと納税の寄附をいただきました。

あぶくま信用金庫と飯館村は、令和元年8月に双方の資源を活用しながら魅力ある地域づくりや地域創生をめざす「地域密着総合連携協定」を締結しています。寄附にあたり、あぶくま信用金庫の太田裕福理事長は「地域の人々に感謝し、地域創生事業に、より一層の支援と連携をしていきたい」と語りました。いただいた寄附は、村の子ども達の教育に活用されます。



(写真左から)佐藤和良飯館支店長、阿部高浩常勤理事、太田理事長、杉岡村長、村幹部で記念撮影。

いいたてロックフェスティバル開催

9月23日、交流センター「ふれ愛館」にて、音楽イベント『いいたてロックフェスティバル』が開かれ、村内外から多くの人々が訪れました。本イベントの代表で「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」を経営する佐藤祐喜さん(上飯樋)をはじめ、村内、福島市、仙台市などからバンドが出演。それぞれの特色ある音楽を演奏し、観客と一緒に大いに盛り上がりました。写真は、見事な音の調和でセッションする「尺とらズ」の皆さん。熱演に、会場から盛大な拍手が送られました。



上飯樋地区の皆さんがスポーツで交流

9月21日、上飯樋地区の皆さんが、スカットボールで交流しました。主催は住民有志でつくる「13区を考える会」です。この日は『第3回パークゴルフでもやってみっ会』が開催される予定でしたが、雨天のため上飯樋集会所にて、スカットボールを実施しました。行政区が備えた用具を使用する初めての機会となり、約30人の参加者が和気あいあいとニュースポーツに挑戦。表彰式やビンゴ大会も行われ、地域の皆さんが親しく交流を深めました。



飯館ライオンズクラブが村道変遷の写真展

9月2日から30日まで、飯館ライオンズクラブが、交流センター「ふれ愛館」で、『飯館村の村道306キロ写真展』を開催しました。全日本写真連盟南相馬支部の協力を得て1年をかけ撮影した写真から30点を厳選。四季が彩る村道の風景を展示しました。「現在の村はどこに行っても道がいいと言われるようになりました」と同会長の菅野典雄さん(佐須)。「かつての悪路を改良し現在の環境を一からつくり上げた先人の歩みに思いを馳せていただけたら」と展示に込めた思いを話していました。



大学生観光まちづくりコンテスト

9月13日、『大学生観光まちづくりコンテスト』の本選発表会が、富岡町文化交流センター学びの森で開催されました。福島県の被災12市町村をフィールドにした「福島復興ステージ」の開催は3年目で、全国112大学がエントリー。そのうち書類審査を通過した10チームが本選発表会に出場しました。

今回、飯館村をテーマに選んだプロジェクトが初めて本選発表会に進出しました。立教大学チームの「いいはな、いいひと、いいたて。」です。花を介した多様な交流を通して、飯館村の人々の温かさや「までい」の魅力を広く伝えるプロジェクト。同大観光学部の2年生、松本有史さん、水口鞠杏さん、久保田紗妃さん、塩浦真紀さんのチームが思いを込めて発表し、「福の絆賞」を獲得しました。



「ツール・ド・ふくしま」村内を縦断

9月14日・15日にかけて、福島復興サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま2024」が、浜通りと阿武隈山系の市町村で開催されました。

2日目の15日には、長距離部門の選手やチームが飯館村内を縦断。大倉地区から比曾地区に抜ける起伏に富んだコースを力強く駆け抜けました。



15日の早朝、朝もやの中、大倉地区の登り坂を進む自転車の列。

峠を越えて長泥地区の十文字を走行する選手の皆さん。

いいたてホームの夏祭り

9月7日、特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で、夏祭りが開かれました。

入居者も職員も、浴衣や甚平に着替えて会場へ。かき氷や焼きそばなど、お祭りグルメを味わいました。また、夕暮れ時には駐車場にて、みんなで輪になり盆踊り。きれいな花火も楽しみました。

残暑が厳しい毎日が続いていましたが、夕方には涼やかになり、入居者の皆さんが、夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。



いいたて
なりわい
REPORT
vol.5

全スタッフ、そして生産者の皆さんと想いを一つに
いいたて村の道の駅までい館



明るい雰囲気厨房スタッフ。ランチタイムに向けて手際よく準備を進めます。



平成29年8月にオープンした「いいたて村の道の駅までい館」。7周年を迎えた今年、物販とレストランの売り上げが昨年同月比で118%を記録するなど、併設のコンビニエンスストアと共に好調を維持しています。「復興の拠点としてオープンした道の駅。スタッフはそれぞれに想いを持って仕事をしてきました」と支配人の神代憲男



笑顔の接客も、当直売所の大きな魅力。非公認キャラクター「まで子」にも注目を!



開業当初から道の駅を支える川井課長(右)と企画・広報担当の佐藤祐太課長(伊丹沢)



いいたて村の道の駅までい館
株式会社までいガーデンビレッジいいたて
飯館村深谷字深谷前12-1
☎ 0244-42-1080



さん(大久保・外内)。道の駅とコンビニエンスストアを運営する「株式会社までいガーデンビレッジいいたて」には、現在、正社員が6人、パート社員アルバイトが24人の計30人が在籍しており、そのうち22人が村民です。「スタッフの企画やアイデアを大切に、お客様に喜んでいただけるよう、皆で創意工夫を重ねてきました」。館内には生産者情報や、季節の花のカレンダー、その日のおすすり品など、お客様と生産者をつなぐ、さまざまな情報が散りばめられています。

の野菜や花がずらりと並び、村民が手がけるまでいな加工品や工芸品も所狭しと並んでいます。レストランでは、地元の食材を使ったメニューが人気を集め、村外からも多くの人が訪れます。総務担当の川井美香課長(二枚橋・須萱)は「開業当初、現在のようになにがわいは想像もできませんでした」と振り返ります。「来てくださる皆さんに、心から感謝しています」。

道の駅「生産者の会」の会員は1000人に達し、会主催のマルシェなども開かれています。「生産者さんあつての道の駅」と神代支配人。「いつも力をいただいています」と笑顔を見せました。

村民スポーツ大会を初開催!

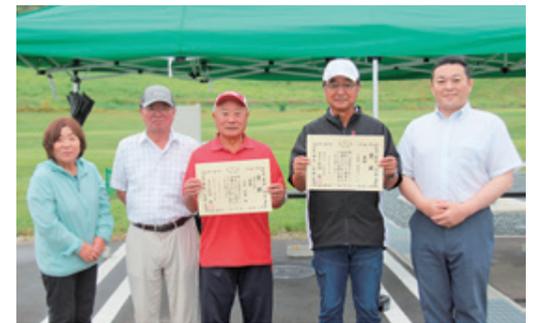
9月16日、いいたてパークゴルフ場にて、『第1回村民スポーツ大会』が開催され、村内各行政区から多くの参加者が集いました。本大会は、村民のつながり、交流を図り、震災後休止していた村民体育大会に代わり、14年ぶりに開催されたものです。

当日は29チーム、総勢114人が参加し、優勝に向けて競い合いました。結果については、次の通りです。

【団体戦】優勝:二枚橋・須萱Bチーム / 2位:前田・八和木Aチーム / 3位:八木沢・芦原チーム

【男子個人】優勝:高橋則雄さん(二枚橋・須萱) / 2位:大河内敏彦さん(八木沢・芦原) / 3位:佐野幸正さん(前田・八和木)

【女子個人】優勝:高橋ちよ子さん(飯樋町) / 2位:丹野マサ子さん(飯樋町) / 3位:佐藤廣子さん(大久保・外内)



9月の村の動きと主なできごと

- 1日・第63回福島県芸術祭「比曾の子ども三匹獅子」出演(富岡町文化交流センター学びの森)
- 7日・市町村対抗福島県軟式野球大会・同ソフトボール大会合同結団式(交流センター「ふれ愛館」)
- ・語学研修 希望の里WAKUWAKU Eツアー事後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- ・わくわく農業体験塾第2回実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・令和6年度飯館村敬老会(いいたて希望の里学園体育館)
- 9日・あぶくま信用金庫からの企業版ふるさと納税寄附贈呈式(村役場)
- 11日・認知症キッズサポーター養成講座(いいたて希望の里学園)
- 15日・福島復興サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま」村内通過(大倉地区く比曾地区)
- ・いいたてつ子秋まつり(いいたて希望の里学園)
- 16日・第18回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦 対大玉村(福島市・信夫ヶ丘球場)
- ・第1回村民スポーツ大会(いいたてパークゴルフ場)
- ・語学研修 希望の里WAKUWAKU Eツアー報告会(交流センター「ふれ愛館」)
- 19日・第3回環境回復検討委員会(村役場)
- ・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・23日・仙台オクトーバーフェスト出展(宮城県仙台市・錦町公園)
- 21日・テニス教室交流会(いいたてスポーツ公園)
- ・ハイウェイフェスタとうほく2024(宮城県仙台市・勾当台公園)
- 21日・22日・第20回ふるさと帰郷フェア2024(東京都千代田区・東京国際フォーラム)
- 21日・22日・移住検討者向けモニターツアー「つながるミチシル旅」(村内各所)
- 25日・定例教育委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・第3回学校運営協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・介護者のつどい(宿泊体験館きこり)
- 27日・飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 28日・飯館村長選挙 告示日
- ・第2回飯館村二十歳の成人式実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・スポーツ推進委員視察研修(楡葉町・Jヴィレッジ)
- 28日・29日・「あぶくまロマンチック街道」沿線地域物産フェア(福島市・コラッセ福島)

塩の道 奥州西街道の古道跡

歴史の散歩道

江戸・仙台間を結んでいた奥州浜街道は、相馬地方を通る陸上の主要な交通路で、改修前の国道6号線にほぼ一致しています。中通りの奥州街道と並ぶ、みちのくの幹線でした。この2つの幹線を結び阿武隈山地を横断する道は、塩や海産物を内陸に運ぶ経路として重要な役割を果たしていました。

飯樋から比曾までを「久保曾道」、その先は「三春道」と呼ばれていました。「塩の道」の街道沿いには、八木沢宿、飯樋宿の2つの宿場があり、飯樋宿には相馬中村藩の「山中郷陣屋」が置かれました。八木沢には検断がいて塩倉があったと伝わり、ここで掲げられた制札が発見されています。検断は、違法行為を取り締まる職務を担っていました。関沢にも代々検断を務める家があり、やはり塩倉が置かれていたようです。

また、大久保には「塩検断所」の屋敷跡があります。相馬中村藩からこの検断所に派遣された旧渡辺家は、清水を利用して酒造業も営み、繁盛したと伝わります。



「塩検断所」だった旧渡辺家の屋敷跡。塩の流通は後に国の専売となり、現在は自由化されています。



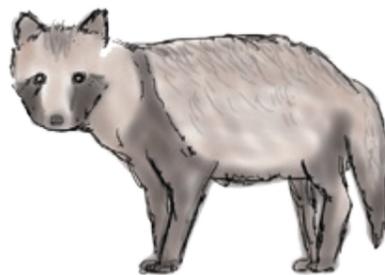
「塩の道」の傍らに佇む「トウバノマツ石碑群」。石碑や地蔵が15体ほど並んでいます。(八木沢地区)

いいたて 18 イノサル通信

侵入者は誰? ~タヌキ、ハクビシン、アライグマ~

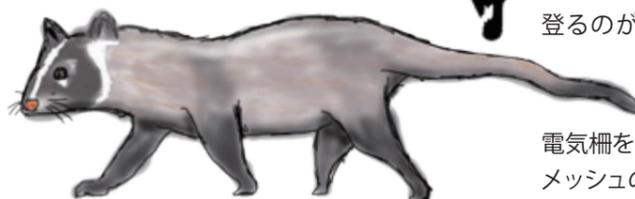
イノシシやサルではなさそうだけど、夜になると何かの動物が畑に入って農作物を荒らしている…そんな時に、よく話題に出る動物を紹介します。大きさや見た目がよく似ていますが、特徴や習性が違うので対策も違います。侵入の仕方や痕跡などの情報を活用して、動物を見分け、相手に合った対策をしましょう。

タヌキ



驚くと硬直することがあるので、よく道路で車に轢かれていられるを見ます。イヌ科の動物で、目の下に扇状の黒い模様と、前足から肩にかけて黒い模様があります。飯館村にも多く生息していると思われます。雑食性で、小動物や昆虫、植物など色々なものを食べます。フェンスや柵などには、全く登らないわけではありませんが、基本的には登るのが得意ではありません。対策としては、目の細かいワイヤーメッシュ柵や、電線を低めにした電気柵などが有効です。

ハクビシン



ジャコウネコ科で、多くの個体は顔の真ん中に縦の白い線が入っています。原産国や移入の時期は諸説ありますが、もともとは日本にいなかった外来生物です。植物食寄りの雑食性で、果実を好んで食べますが、野菜なども食べます。登るのがとても得意で、狭い隙間も通り抜けれます。電線を低

めにした電気柵の他に、複合柵(ワイヤーメッシュ柵の上に電気柵を設置したもの)であれば、ワイヤーメッシュの部分にネットなどを張ることが有効です。



食痕▶

アライグマ



アライグマ科で、タヌキに似ていますが、尻尾に縞模様があるのが特徴です。もともと日本にいた動物ではなく、北米原産です。日本では、飼育個体が野生化して増えたといわれています。特定外来生物に指定されており、農作物の被害の他にも、もともと日本に住んでいる生き物に悪影響を与えることが懸念されています。雑食性で、小動物や昆虫、植物や農作物など、色々なものを食べます。足には人間の手に似た長い指があり、トウモロコシの皮をきれいに手でむいて食べたり、スイカに穴をあけて、中身を取り出して食べたりします。ワナで捕獲する時には、餌にスナック菓子などを使うこともあります。ハクビシン同様に、登るのが得意です。電線を低めにした電気柵の他に、複合柵が有効です。



▲食痕 ©WMO

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する京黒さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員 京黒 篤志 さん

令和3年1月から福島県避難地域鳥獣対策支援員を務めています。令和6年度から飯館村の主担当となりました。

イラストも…!

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

読書メッセージコンテスト作品募集

飯館村では毎年読書メッセージコンテストを実施しています。今までに読んだ本について、100字程度の簡単な感想文をメッセージにして伝えてみませんか。読書メッセージコンテストに参加して新しい本との出会いをつなげていきましょう。読書が日常の一部になりますように。

締切は10月11日(金)!

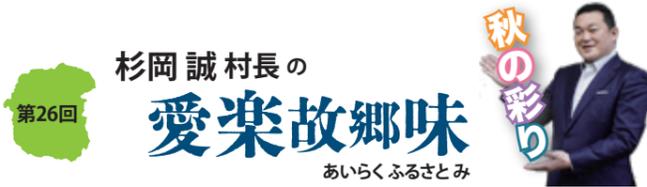
いいたて村文化祭

10月27日(日)は、いいたて村文化祭です!10月24日(木)〜30日(水)の期間には、総合文化展として、村民の皆さんの作品を展示します。素晴らしい作品が並びますので、ぜひ交流センター「ふれ愛館」へお越しください。

元気アップポイントを 知っていますか?

生涯学習事業(コンサートや各種教室、スポーツイベントなど)に参加したり、交流センターで本を借りたりすると、元気アップポイントが1ポイントたまります。50ポイントがたまると素敵なプレゼントをお渡しします。ぜひご参加ください。

若い活力と長年の実力
伝統と未来が邂逅する村



第26回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ

今年も実りの秋の到来です。生産量を増やし続けている「あぶくまもち」の収穫、「いたてホップ」のビールの完成も待ち遠しい限りです。9月は1日の「福島県芸術祭」から始まりました。村からは比曽地区の「子ども三匹獅子」が披露されました。子ども達の可愛い未来を感じる演舞に会場の皆様も魅了されておりました。7日の「いたてホーム夏祭り」では青空の下、皆様の笑顔を見つけて、晴れやかな心持ちにさせていただきました。8日はコロナ禍が明け、2回目の「敬老会」。今年も多くの皆様に参加していただき感謝申し上げます。飯館村の敬老会はふるさとの真心を届けられる、温かい会となるよう努めております。ふるさとの花、敬老祝い品も含め、村産にこだわったものです。お楽しみいただけましたら、これ以上の喜びはありません。15日は「いたてつ子秋まつり」、16日は「村民スポーツ大会パークゴルフの部」「希望の里 WAKUWAKU E ツアー 報告会」「市町村対抗軟式野球大会」、21日は「ズットフィルム」、23日は「いたてロックフェスティバル」、28日は生産者の会の「まじなマルシェ」など盛り沢山。若い活力と長年の実力、伝統と未来が邂逅する飯館村の初秋となりました。昨年引き続き、仙台の「オクトーバーフェスト」に参加し、飯館村の魅力を外に広く発信し、村産食材を使用した特別メニューを提供して好評賜りました。参加された皆様の笑顔が忘れられません。魅力の磨き出しと発信に、より一層努めてまいります。そして、27日の飯館村表彰式。村の発展と福祉の向上のため、長年にわたり献身的な活動を続けられ、指導的役割を果たしてこられた方々のご功労に深く感銘を受け、伏して感謝を申し上げます。先輩方皆様のお知恵とご見識は村の貴重な財産です。飯館村は温故知新の中にも、化学反応を起こしている唯一無二の自治体です。この村は真っ白なキャンパスであり、そこに彩りを加えるのは他の誰でもない、村民の皆様お一人おひとりです。お一人おひとりの意欲を何よりも大切にしております。実りの秋をワクワクしながら、楽しんでまいりましょう。

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鳴原 誠一さん	80	長泥
高橋 一さん	73	伊丹沢
菅野 要治さん	91	前田・八和木
原田 重吉さん	91	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます



(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



ひとのうごき 令和6年9月1日現在

人口	今月(前月比)	8月1日~31日までの人口動態
●男	2,311人(-4)	転入 5人
●女	2,260人(-2)	転出 7人
計	4,571人(-6)	出生 1人
世帯数	1,798戸(-2)	死亡 5人
		(住民基本台帳人口)

飯館村語学研修事業 希望の里 WAKUWAKU E ツアー
報告会で旅の成果を発表しました

9月16日、交流センター「ふれ愛館」で、飯館村語学研修事業『希望の里 WAKUWAKU E ツアー』の報告会が開催され、ツアーに参加した16人の生徒が、関係者や保護者を前に旅の成果を発表しました。

生徒は班ごとに壇上に上がり、スライドを使って、ホームステイの思い出や学校交流のこと、発見したオーストラリアと日本の違いなど、さまざまなテーマについて、一人ひとりが発表しました。

発表後の講評では、杉岡村長が「それぞれにとってもよい経験ができたことが伝わってきました。自分で気づいたことをきっかけに、これからも国際感覚を磨いてほしい」と、いたて希望の里学園の亀田邦弘校長が「多くの人のご協力でこれだけ貴重な体験ができました。ぜひ今後の人生に生かしてほしい」と述べ、旅で得た成果を讃え、エールを送りました。



希望の里 WAKUWAKU E ツアー

詳しくは9月号を見てね

いたて希望の里学園後期課程の生徒を対象とした語学研修ツアー。8月1日から6泊8日の日程で実施され、参加を希望した生徒16人がオーストラリアを訪れました。現地の中学校で特別授業を受けながら同世代と交流し、ホームステイも体験。農場やビーチ、歴史的スポットなどを訪れ、暮らしや文化にも触れました。

村民広報委員 富士男の

ちょっと寄り道 ⑥

春夏秋冬



すが 清しい秋です。先日、村の敬老会に出席させていただきました。久しぶりに逢う人達はまるで元気そのものようでした。「少し痩せたかな?」「少し腰が曲がったかな?」それでも屈託のない笑顔で思い出話をしてくれました。

14年間の避難生活があったせいか、仲間達に逢ってお互いに元気な姿を確かめ合ったようで、とても話がはずんだようです。

避難先からたまに飯館に帰って来て、隣の人達や友人達と話す言葉は、やっぱり方言まじりで、畑の“なっぱ”の話や、毎年の稲のでき具合の話ばかりのようです。「おへらったから(太陽が沈むから)もう帰ろうか?」そんな言葉も聞こえてきそうです。気軽に話せる事に心が晴れるとも話してくれました。そしてふる里、飯館村の春夏秋冬を思い出すとも言います。

春には 若葉と農作業の風景の事

夏には さわやかな空と子ども達の声

秋には きのこと取りと作物の収穫

冬には 寒さの中の雪のぬくもり

なつかしく楽しかった日々の会話です。これからもそれぞれに少しでもいい、一人でもいい、ふる里のあの風景や、村人の優しさや、にぎわいを取り戻していけるよう、努力していきたいと想います。



比曾の子ども三匹獅子 「第63回福島県芸術祭」開幕行事に出演

9月1日、富岡町文化交流センター学びの森で、第63回福島県芸術祭の開幕行事が開催され、飯館村からは『比曾の子ども三匹獅子』が出演しました。

今年の県芸術祭は、相双地区を重点地区として開催され、開幕行事のステージには各市町村から12

の団体が出演しました。『比曾の子ども三匹獅子』は三番手で登場し、大きな舞台上で見事な舞いを披露しました。

飯館村の子ども達の熱演は、会場を大いに盛り上げました。舞い手は中学生を筆頭に、最年少は4歳です。幼い獅子が真剣に舞う愛らしさも、多くの人を魅了しました。

演舞に続いて、比曾

芸能保存会代表の須藤一さんがステージ上でインタビューを受けました。須藤さんは、震災後の継承活動の難しさに触れながら「子ども達は遠くからも集まって練習をしています。発表の機会を増やして継承につなげていきたい」と語り、会場いっぱいの大きな拍手に包まれました。

勇壮な舞に感心した藩主から「九曜紋」をつけることを許された「比曾の三匹獅子」。300年の伝統を受け継ぎます。



相馬中村藩・相馬家の家紋「九曜紋」。



あなたと出会えてうれしい 楽しい なつかしい

第41回 いたて村文化祭

10月27日(日) 午前9時30分～午後3時

交流センター「ふれ愛館」

総合文化展の表彰式その他、古本市、ドローン操作やセラピーの体験など各種イベントを開催。飲食・物販コーナーも設けられます(村カフェ753の店は26日)。また、福祉チャリティー祭りを同時開催。豪華賞品が当たる館内スタンプラリーも行われます。

個人・団体の多彩な作品が並ぶ総合文化展は24日～30日の午前9時～午後5時の開催です(土曜日は午後2時、日曜日は午後3時まで)。お見逃しなく!

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

〈編集後記〉

敬老会へ取材に行った際に、参加した方々から「いつもお世話になってどうもない」と声をかけていただきました。小さいころ下校中に挨拶をしたおばあちゃんやおじいちゃんです。その頃より身長は伸びましたが、優しさや偉大さは皆様には到底かないません。飯館村を守り、支えてきた皆様が続いて、地域の担い

手として頑張っていると思います。(巻野) 県農業賞を受賞した13区営農組合。仲間を大切に、取引先の信頼を得て新たな農業の形を開拓してきた皆さんの並々ならぬ努力の軌跡が思い起こされました。比曾の子ども三匹獅子は、参加した子どもさんがさらに出てきているとのこと。継承に力を尽くす皆さんの思いをつなぐ、子ども達の誇り高き勇壮な舞に胸が熱くなりました。(星)